



浅沼 雄 さん(40)
奈都美 さん(40)
＝江刺区梁川字館下＝

雨の日も晴れの日も

●どんなときも一緒に素敵な夫婦を紹介

夫婦でことしの江刺区の42歳年祝連「黎明会」の一員として活動している浅沼夫妻。二人の出会いもまた、年祝連の活動でした。25歳年祝連「黎明会」の副会長として活動していた雄さんと衣装部の一員だった奈都美さん。それぞれ別の中学校出身で初対面だった二人の接点は、走ることでした。共に江刺区内一周駅伝競走大会の選手だったことで話が盛り上

がったそうです。二人が初めて一緒に走ったレースが「宮古サーモンハーフマラソン」です。「途中から併走していて、一緒にゴールするつもりが最後に先に行かれた」と雄さんが語ると、「一歩だけ、先に出てしまつて」と奈都美さんが笑つて訂正。結婚してから夫婦で、子どもたちが成長してからは家族で市内外のマラソン大会などに出場し、夫婦ペアで出場したえさし国際交流マラソンでは、何度か準優勝しました。二人は、次男の稀心君(10)の誕生日と奥州市の誕生日が同じ、市章の作者が親類ということもあり、市との縁を感じると言います。5月の江刺甚句まつりには「若い人が地元に残ってほしい。残りたいと思える祭りにしたい」という思いを込めたいと雄さん。そして「踊りだけでなく、小太鼓演奏で搭乗するので屋台も注目して」と笑いました。

夢トーク

将来の夢は 67 「柔道でオリンピックに出る」



三浦 大也 くん
(水沢区・羽田小学校6年)

Interview

——学校での役割は？
運営委員長です。学校をより良くすることに取り組んでいます。みんなが大きな声であいさつしたり、廊下の右側を静かに歩いているのを見ると、やりがいを感じます。
——普段どんなことをして遊んでいますか？
近所の友達や弟と鬼ごっこをしています。足の速さには自信があります。
——小学校生活の思い出は？
県南青少年の家での宿泊学習です。ウオークラリーや初めて

の野外炊飯が楽しかったです。作ったカレーがおいしくて、班のみんなで残らず食べました。
——中学校へ進学したら、やってみたいことはありますか？
柔道部に入って、県大会優勝を目指したいです。
——将来の夢を教えてください。
柔道でオリンピックに出場することです。金メダリストの野村忠宏選手に憧れて、2年生のとき、水沢の立生館柔道スポーツ少年団に入りました。家でも家族と技のかけ方などをよく話しています。

中高生の部活動や
委員会活動を紹介

31

青春讃歌

前沢中学校 応援団



◎団員数 12人
◎顧問 佐々木 清 先生
◎団長 千葉 大介 君(3年)

日々持ち続ける リーダーとしての意識

昨年11月に新たな体制を発足させた前沢中学校応援団。12人の団員は、皆立候補し選ばれた各クラスの代表者です。「日々の生活でも、全校のリーダーとしての意識をもって生活しています」と語る、団長の千葉大介君。団員たちは、生徒の見本となることを心掛けています。

応援団が特に力を入れているのが、太鼓の演奏です。5月の体育祭や10月の前中祭のような校内の行事で演奏するほか、奥州前沢春まつりや前沢夏まつりなど校外の行事でも

演奏を披露します。晴れの舞台に向けた彼らの練習はまさに真剣そのもの。しかし「みんな仲良く、和気あいあいと練習できています」と千葉団長が語るとおり、努力を楽しんでいます。応援の質を高めるため、腕の振りを課題ととらえるなど、自己分析も欠かしません。

顧問の佐々木先生は「まだまだ私語が多いことがある。太鼓がうまいだけの存在ではなく、生活面も含めてみんなから憧れられる存在になってほしい」と団員たちの心の成長も温かく見守ります。かつて団員たちは、先輩応援団を怖いと感じながらも憧れたそうです。自分たちが応援団となった今、下級生に「怖いけれど信頼できる応援団」とってもらいたいと願い、日々の努力を重ねています。



熱の入った練習風景



春風が心地よいこの頃、いかがお過ごしですか。

日本穀物検定協会が発表した2015年産米の食味ランキングで、県南ひとめぼれが21回目の最高評価「特A」を獲得しました。生産者の努力に敬意を表するとともに、あらためて胆江の米の品質の高さが証明され、うれしく思います。なお一層、市産米を全国にPRしてまいります。

「いわて奥州きらめきマラソン」実行委員会の設立総会が2月末に開催されました。フルマラソンをメインに、来年5月21日に開催予定として決定しました。東北随一の大会を目指し、「毎年参加したい」と思っていただけのような満足度の高い大会となるよう、準備を進めてまいります。市民から募集した「広報おうしゅう」の題字デザインが

決まり、今号から使用しています。採用された岩谷堂高校の佐藤加奈さん(17)の作品は、表情豊かな4人の子どもが市の特産品であるリンゴ、米、牛肉、南部鉄器を持ち上げているデザインです。内容を充実し誰からも親しまれる広報紙を発行してまいります。全国から募集した市道谷子沢南前川山線・一関市道鬼頭明通線の愛称が「栗駒焼石ほつとライン」に決まり、採用された佐々木文也さん(62)に副賞を贈りました。知名度のある栗駒山と焼石岳、そして温泉が楽しめる分かりやすい愛称です。新緑、紅葉の季節には、素晴らしい景観が楽しめます。ぜひ足を運んでください。

3月にいさわジュニアミュージカルスクールの受講生や沿岸の児童生徒が出演した「プリンセス・マーメイド」を鑑賞しました。夢と希望に満ちあふれた舞台に、とても感動いたしました。スタッフの皆さん、出演者の皆さん、ありがとうございました。

奥州市長 小沢昌記